

文化の薫り高いまち、荒川区を目指し、86歳の今も書道の魅力を伝え続ける



荒川区山吹こども書道教室

■プロフィール

昭和3年10月、株式会社日東ハンドル製作所(現・株式会社日東)の創業者の三男として荒川区で生まれる。86歳。開成中学を卒業後、家業の技術部長・専務として70歳まで経営に携わる。荒川区書道連盟発起人の1人として、昭和57年から平成8年まで副理事長、平成8年から20年まで理事長、以降会長を務める。平成3年荒川区功労者表彰(地域功労)、平成12年荒川区功労者表彰(文化功労)、平成21年東京都功労者表彰を受ける。



吉川 三郎(号清洌)さん

清洌書道会 主宰
清和書道会 理事
荒川区書道連盟 会長

第234回 荒川の人

「書道は学校に上がる前から習っていました。学校や荒川区の代表に選ばれ、父が私が書いたものを床の間に飾って、よく自慢していましたね」
進学した開成中学の書道部では、現在吉川さんが所属する清和書道会の礎を築いた植村和堂(うゑむら・わどう)氏にみていただいたこともあり、戦中、戦後が激しい最中は、書道も一時中断せざるを得ませんでした。
「戦後、母が書壇院という組織に属していた尾久の比企野起延(ひきの・きえん)先生に依頼し、社員を含め10人くらいで、出稽古しても

幼い頃から始め、戦中・戦後、仕事をしながらも続けた書道
吉川さんは、自転車のハンドル部品などのトップメーカー株式会社日東の創業者の三男として生まれ、後に三河島母の会などで活躍された吉川さんのお母様はご自身が苦勞された経験から、子どもたちや社員への教育に大変熱心だったそうです。
「書道は学校に上がる前から習っていました。学校や荒川区の代表に選ばれ、父が私が書いたものを床の間に飾って、よく自慢していましたね」
進学した開成中学の書道部では、現在吉川さんが所属する清和書道会の礎を築いた植村和堂(うゑむら・わどう)氏にみていただいたこともあり、戦中、戦後が激しい最中は、書道も一時中断せざるを得ませんでした。
「戦後、母が書壇院という組織に属していた尾久の比企野起延(ひきの・きえん)先生に依頼し、社員を含め10人くらいで、出稽古しても

日本の学校教育では、文字を表現・鑑賞する能力や態度を養うことは豊かな情操と個性の伸長など人格形成に役立つとして、小学校から国語で書写の授業が取り入れられていました。近年、パソコンなどの普及により紙に文字を書く機会が減っているとはいえ、日本の文字の大切さや日本の伝統文化である書道の価値に変わりはありません。
そこで、永年にわたり荒川区書道連盟の役員として活動されてきた吉川清洌(よしかわ・せいえん)さんに、地域の書道文化向上を支える活動と、荒川区に対する想いについてお話を伺いました。

らったんです。それが書道への興味をより深めていくきっかけでした」
書壇院のなかで頭角を現した吉川さんは20歳で院友となり、21歳のときには審査員候補に挙がるまでに、しかし、お母様に「おまえは200人いる従業員とその家族を背負って立っているのに、そんな暇があるわけないだろ」と諭され、書家としての道を諦め家業に専念。以後、同社の技術の要としてさまざまな自転車ハンドルを企画し、特許や実用新案も取得してきました。
荒川区を「文化立区」にすべく、今なお力を注ぎ続ける

それでも好きな書道が続いていた吉川さんは、昭和57年2月に荒川区教育委員会主催の書道展に出品。その際、出品者有志と荒川区教育委員会社会教育課によって書道連盟発足の気運が上がり、吉川さんも発起人の一人として、同年6月に荒川区書道連盟が発足。副理事長に就いた吉川さんは会社の仕事の合間を縫いながら、理事長の江口正秀(えぐち・まさひで)氏を支え、連盟の運営にあたりました。平成8年から20年までの12年間は理事長として他の役員との協力のもと、さまざまな活動を推進。区民や小・中学生に書道文化を普及・継承するため、毎年行われる荒川区文化祭の書道展には、会員のみなさん、広く区内に参加を呼び掛けてきました。また荒川区文化団体連盟による町屋文化センターの「荒川区文化総合講座」にも尽力し、現在、書道連盟は「漢字書道」「かな書道」「実用文字A・B」「こども父兄書道」の5講座を運営しています。

文化の町、荒川区への想いを熱く語る吉川さん
「こども書道教室では字の上達とともに、書道の心と礼儀作法を身につけることを目標にしています。お手本を見て、一点一画をきちっと書くことは人としての道にも通じます。また教室として使う公共の部屋を汚さない、汚したら掃除して返すなど、他人を思いやる心や礼を尽くすことを人間形成の一環として教えています。3年も続けると、格段に字の質がよくなり、字も輝いてきます。筆遣いが違ってきて、形はもろろん、線が伸び伸びしてきます。そうして体に染み込んだものは簡単に抜けませんから、その子は一生、書道への関心を持続させるでしょう」
そして、吉川さんの活躍を支えてきたのは、荒川区を文化の薫り高いまちにしたいという想い。区内の他の文化団体とも協力し、頑張っている。必ず根付くはずだと熱く語りま

今年も荒川区文化団体連盟に加盟する文化団体による文化祭が始まっています。それぞれ趣向を凝らした大会・展示を行なっていますので、みなさんもぜひ足を運んでください。
平成26年度 荒川区文化祭
11月には書道や茶華道、写真や俳句などの8つの展示と、民謡、邦楽、囲碁などの7つの大会があります。
詳細は、8ページをご覧ください。

今年も荒川区文化団体連盟に加盟する文化団体による文化祭が始まっています。それぞれ趣向を凝らした大会・展示を行なっていますので、みなさんもぜひ足を運んでください。
平成26年度 荒川区文化祭
11月には書道や茶華道、写真や俳句などの8つの展示と、民謡、邦楽、囲碁などの7つの大会があります。
詳細は、8ページをご覧ください。

今年も荒川区文化団体連盟に加盟する文化団体による文化祭が始まっています。それぞれ趣向を凝らした大会・展示を行なっていますので、みなさんもぜひ足を運んでください。
平成26年度 荒川区文化祭
11月には書道や茶華道、写真や俳句などの8つの展示と、民謡、邦楽、囲碁などの7つの大会があります。
詳細は、8ページをご覧ください。

ふくらむ収納から、ゆとりの収納へ!

トランクルーム 貸し納戸

安心な管理人常駐!!管理費・共益金ナシ!!天井高3mで収納抜群!!

2階 割安ブース完成!!

3階 若干空きあり!!

詳しくはホームページをご覧ください
※空室はお電話にてご確認ください。

引越しの合間に家具の収納として、
シーズンオフの生活用品やスポーツ用品の収納に。

泰山堂トランクルーム 東京都荒川区荒川4-48-3
TEL03-3802-8888 (8:00~19:30) FAX03-3805-2690

http://www.okubopp.co.jp/

忘年会ご予約承り中
【最大宴会人数60名様までご利用いただけます】

とらふぐ紀行
期間：11月24日(月・休)まで

とらふぐフルコース
寿 ことぶき
通常価格 8,000円(税込8,640円)
↓
6,400円(税込6,912円)

「お昼の忘年会」
集い膳
お造り、焼八寸、一人鍋、茶碗蒸し、和牛あみ焼き、揚物、御飯、汁物、香の物、デザート
3,000円(税込3,240円)

無料送迎バスをご用意いたします。

グラスドリンク人数分プレゼント
●2,160円以上の料理をご注文に限りです。
●グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
●他券との併用はできません。
●ご飲食前に係員にお渡しください。
●平成26年12月31日まで有効
●木曾路南千住店のみの有効

木曾路南千住店 荒川区南千住5-6-15
TEL: 03-5850-5567